

2022年度事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居者の方が安心して自分らしく地域で暮らせるよう、日常生活の中で様々な相談・支援を行い、主体的に生活できるようにサポートしてきました。また、松山市のワンステップ事業を活用した昼食や夕食体験、チャレンジ事業を活用した体験外泊等を行い、長期入院の方の退院促進に努めました。退所者5名の内単身生活への移行は1名。職員の支援力向上を目指して新たに事業所内研修を実施しました。

2022年度 どんまいハウス実績

(2023年3月末 現在)

見学者数	新規入居者数	退所者数	入居者数
7名	7名	5名	34名

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2023年3月末現在で定員20名に対し登録者数32名、平均通所者数18.8名と目標を達成することが出来ました。昨年度は医療機関、就労関係機関との連携支援に利用者2名が登録を行い、うち1名が一般企業に就職されました。また、就労移行事業所やA型事業所へのステップアップを考えられている方に対し、それぞれの望む自分らしい生活の実現に向けた情報提供、他機関との連携支援を行ってまいりました。作業においては、感染症の影響を受けることもありましたが、コロナ過で培った衛生管理体制の確立や迅速な対応を行い、利用者一人ひとりの作業意欲に働きかけ、丁寧で確実な作業の遂行を行っていくことで、取引業者からの変わらぬ信頼と新事業の提案を受けることができた結果、安定した授産収入を得ることができ、平均工賃月額を2,000円以上あげることができました。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、2023年3月末現在で定員20名、登録者数34名、令和4年度平均通所者数19.2名となっています。見学体験やワンステップ事業を利用された方が少なく、事業所数も増えているため、相談支援事業所や行政窓口等に事業所を知ってもらうためチラシ配りなど挨拶回りも行いました。弁当事業では、物価の高騰により利益の低下を抑えるため利用者で協力し話し合いや原価計算などの研修も繰り返し行っています。また、就労を希望されている方も多数おり、他機関とも連携しながら就労支援も継続していますが、ここ2年間は就労実績がありません。調理や盛付などの作業に不安のある利用者の方も増えてきたことから軽作業として内職作業も再開し個別に安心して作業していただけるよう一人ひとりに合った作業からスタートできるようにしました。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、2023年3月末現在で定員20名に対し登録者数37名、2022年度の平均通所者数は16.0名でした。新規契約者が6名ありましたが、地域移行対象者や60歳以上の方など、ご本人のペースに合わせた通所頻度の調整が必要な方が増え、平均通所者数が減少しました。主となる印刷事業では、コロナの影響が残るなか、行政機関からの仕事の依頼が増加し、前年度よりも受注件数が増えました。相見積りによる見積り金額の見直し、材料費の高騰など、マイナス要素が多くありましたが、コスト削減、印刷工程の効率化に努め、コロナ禍前の2019年の売上まで回復させることができました。平均工賃月額は、短時間利用の利用者の増加により2021年度を下回りました。就労支援においては、一昨秋に一般就労に移行した方への定期的な連絡や企業訪問などの継続した支援を行い、2名の方の就労定着を達成することができました。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、2022年度、地域移行支援事業を利用して精神科病院から退院された方2名、グループホームから単身生活を始められた方1名、計3名の支援を行ってきました。定期的な訪問相談や本人の希望で必要に応じて同行支援などを行い、地域での生活をする上で生じる様々な状況にご自身で対応できる力を身につけられるよう支援をしてきました。利用者の方に統一した支援を行えるように、事業所内での情報共有に努めるとともに、医療機関、関係機関とも連携して地域での生活を支えてきました。

- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは2023年3月末現在、契約数は計画相談(100名)、地域移行相談(3名)、地域定着相談(10名)です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、昨年同様、コロナによる面会制限や体験利用不可などもあり退院支援に難航しましたが、2022年度は4名の方が退院に結び付きました。
- ⑦ シェアハウスこだちは、掃除や食事などの生活支援として週3日支援員が訪問し、4名の方が生活しています。共同部分の清掃や草引きなど協力しながら自立に向けて生活しました。コロナウィルス感染症により居室で過ごす時間が増えていることから、誕生会にはリクエストメニューやミニゲーム大会をして過ごしたり年中行事には季節の料理を食べたりしながら少しでも楽しみを持って生活できるようにしました。また、チャレンジ事業やワンステップ事業など松山市の地域移行・定着支援事業も活用しながら見学体験も随時おこないました。
- ⑧ 感染状況に応じてZOOMを利用したサロンや対面でのサロンを実施いたしました。参加者からの希望や意見を取り入れながらほっとできる居場所作りを目指し、企画してまいりましたが、参加される方も回を追うごとに増えており、貴重な交流の機会となっています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	25名	精神障害者 34名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障害者 35名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	7名	精神障害者 36名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障害者 40名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障害者 3名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	3名	精神障害者 100名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	48名	精神障害者 5名
	サロン事業 さろんだぞう	4月1日 ～3月31日	松山市及び 周辺市町村	9名	精神障害者 196名

2023年度事業計画書（案）

2023年4月1日から2024年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、共同生活援助事業所、就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所、自立生活援助事業所の運営を事業の柱として、精神障がい者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障がい者の人権に配慮した街づくり、地域共生社会の実現に向け社会資源の提供をしていくことに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスでは、本町センター「こもれび」「わかば」の定員を1名ずつ増し「ひなた」「いずみ」「みなも」5施設で34名の定員とし、引き続き入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居されている方が主体的な生活を送れるよう、日常生活の自立支援はもちろん、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。また、松山市のワンステップ事業やチャレンジ事業を積極的に活用し、社会的入院の方の退院促進を進めていきます。事業所内での研修会を継続し、安定した運営に繋がりたいと思います。ここ数年コロナ禍で制限の多い生活を送ってこられた為楽しみをもってグループホームで過ごすことができるよう支援の幅を広げたいと思います。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、利用者に対し安心して通所できる作業環境の整備に努め、生産活動の機会を安定的に提供するとともに、利用者の特性や状況に応じた訓練を通して、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう支援を行います。利用されている方々が自分らしい生活を送れるよう地域啓発や社会資源の提供に力をいれ、地域へ発信できる事業所を目指します。利用者のモチベーションややりがいを高め、就労意欲の向上につながるよう関係機関と連携しながら積極的に支援していきます。職員一人ひとりの支援に対する知識、技術の向上を目指し、自己研鑽を続けることで満足度の高い支援を提供します。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を途切れることなく提供できるよう感染症や災害への対応を強化し継続したサービス提供ができる環境や取り組みを続けていきます。また、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練をおこない、高齢の利用者やワンステップ事業の体験者など、幅広いニーズに対応できるよう、きめ細やかな支援や作業環境の整備を行います。弁当配食事業では、クオリティを維持しながら、作業工程の効率化を図り、売り上げ向上を目指します。また、関係機関との連携を図りながら、本人のニーズや特性に合わせたアプローチで、継続的に就労支援を行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、利用者のスキルや知識、能力が向上し、やりがいを持って作業に取り組めるよう、一人ひとりの特性や得意なことを把握し、必要な技術指導や訓練を行っていきます。印刷事業では、新規顧客の開拓や共同受注の活動に積極的に参加することによって販路拡大や利益向上につなげるとともに、利用者の作業に対するモチベーションが上がるような働きかけを行い、平均工賃の向上に努めます。また、利用者同士がゆっくり話せる場を設け、通所の楽しみが増えるよう支援していきます。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、今年度も長期入院から単身生活をされる方をはじめ、グループホームから単身生活に移行される方を対象に、地域で安心して暮らせるよう支援していきます。利用者の状況に応じた支援ができるよう、職員の知識や技術の向上を図ります。利用者の方がサービス終了後の生活をイメージしながら、自分の持っている力を発揮できるよう支援を行っていきます。
- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標は、①地域移行定着の推進②相談支援専門員の質の向上③関係機関との連携強化です。今年度も積極的に研修に参加し質の向上を目指します。地域移行支援事業・地域定着支援事業においては対象者の方が安心して退院や地域生活を行っていただけるよう、丁寧なアセスメントの実施、サービスの調整を行いたいと思います。また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、助言、援助等に努め、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス等利用計画書の作成および評価を行います。

- ⑦ シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っているが不安が残るといふ方、また、家庭環境、住居等の事情により住居の確保が困難な方に対し、一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生活の最低限の援助をおこないます。地域の社会資源として活用していただき、定員6名の入居者が安心して生活できるように関わります。
- ⑧ 私たちはピアサポート事業を通し、一人でも多くの方が地域で安心して暮らせるように応援します。継続的なピアサポートの研修や交流会を行い、当事者と共に学び、スキルアップを図りながら、一人ひとりのより豊かな地域生活につなげていきます。また、他機関とも連携を図りながら、地域移行の促進を目指し、ピアサポート活動のさらなる充実につとめます。また、松山市の保健所サロンにも引き続き協力していきます。
- ⑨ サロン事業では、一人暮らしに寂しさを感じている方や日中の活動先を探されている方に対してほっとできる居場所づくりを、また長期入院者の地域生活へのイメージづくりを目指し、さろんだぞう（趣味やゲームの集い）、どんまい食堂（夕食づくり）、さろんだぞうカフェ（地域移行サロン）を実施してまいります。今年度はコロナウイルスの5類感染症移行により、本来の形でサロン事業を展開し一人でも多くの方の拠り所となるよう最大限の取り組みを行ってまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	通年	松山市及び 周辺市町村	30名	精神障害者約34名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障害者約32名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市及び 周辺市町村	7名	精神障害者約35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障害者約40名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	通年	松山市及び 周辺市町村	3名	精神障害者約2名
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市及び 周辺市町村	4名	精神障害者約100名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	シェアハウスこだち	通年	松山市及び 周辺市町村	48名	精神障害者約6名
	法人ピアサポート	通年	松山市及び 周辺市町村	48名	全職員及び 実習生
	サロン事業 さろんだぞう	通年	松山市及び 周辺市町村	48名	精神障害者約64名
	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他 事業所との交流会、勉強会 など	通年	松山市及び 周辺市町村	48名	全職員及び 実習生

第2号議案 2022年度NPO法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者
4月	11日	愛媛労働局実施指導	
	27日	職員研修（パワーハラ・身体拘束について）	どんまい職員
5月	13日	聖カタリナ大学看護科講義	ピアサポーター2名・濱石・清水
	16日	消防点検（全施設）	
	25日	職員研修（就労移行について）講師：橋本・中岡・柳原	どんまい職員
	28日	NPO法人どんまい総会・理事会（リモート）	理事・社員
6月	7日	訓練費給付請求システム説明会	中川・濱石
	9日	聖カタリナ大学看護科 講義	清水・濱石 ピア 本村
	22日	職員研修（育児休業・傷病手当等について）講師：社労士 本田氏	どんまい職員
7月	15日	聖カタリナ大学看護科講義	濱石
	20日	職員研修（虐待防止について）（リモート）講師：虐待防止チーム	どんまい職員
8月	2日	松山市サービス事業所等連絡会議（各事業所サビ管）	各事業所サービス管理責任者
	9日	愛媛県地域移行検討協議会	中川・濱石
	23日	松山市相談支援事業所連絡会	相談支援専門員
9月	15日	社会復帰連絡協議会	濱石
	22日	地域移行検討会（北条地区）	中川・濱石
	28日	職員研修（医療観察法について）（リモート）講師：松山市保護観察所 藤本氏	
	30日	松山市人権教育委員会理事会	濱石
10月	2日	サービス管理責任者基礎研修	吉野・池
	26日	職員研修（感染症対策）（リモート）講師：感染対策委員会	どんまい職員
11月	30日	職員研修（やいろ鳥の会）講師：やいろ鳥の会ピアサポーターさん	どんまい職員
12月	28日	職員研修（サビ管・相談研修）講師：吉野・濱石	どんまい職員
1月	20日	人権教育委員会大会	濱石
	26日	地域移行検討会	中川・濱石
	28日	職員研修（職場のコミュニケーション）講師：産業カウンセラー村上氏	どんまい職員
	28日	河原企業合同説明会	中川・濱石
2月	7日	支援連絡会議	関係機関（医療）管理者
	21日	地域移行検討会（味酒地区）	中川・濱石
	22日	職員研修（生活保護について）講師：谷本理事長	どんまい職員
	22日	医療観察連絡会	
3月	10日	協会けんぽ 法人健康課題について	どんまい職員
	22日	職員研修（交通安全・防災）講師：野本・竹田	どんまい職員

■ 法人内定期開催

- ※ 運営委員会（毎月1回 /理事長・理事・管理者）
- ※ 事業所会議（毎月1回 /管理者）
- ※ スタッフ会議（毎月1回 /職員全員）
- ※ 合同カンファレンス（毎月1回～2回）
- ※ 虐待防止委員会（2カ月毎）
- ※ ピアサロン（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ さろんだぞう（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ どんまい食堂（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ さろんだぞうカフェ（コロナウィルス感染防止のため不定期）
- ※ 感染症対策委員会（2カ月毎）

■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会（相談支援専門員・担当職員 1名）
- ※ ピアマネジャー連絡会（ピアマネジャー 2名）

■ ピアサポート事業/シェアハウスこだち/サロン事業

■ その他

- ※ 法人としては、松山市の地域サロンの参加、ピアサポート事業、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習生の受け入れや講師の派遣など、地域の精神保健福祉関係事業に参加協力しました。
- ※ 感染対策委員会を8月より立ち上げました。コロナウィルスだけでなく、インフルエンザや食中毒等の感染対策においてのマニュアル作りや法人の規定等の作成を行い、利用者と職員の安心・安全に努めています。
- ※ 虐待を未然に防ぐために、各虐待シーンを職員が動画に収め、利用者「どういったことが虐待なのか」を知っていただきました。11月にはこのDVDを元に利用者向け研修を行ったり、アンケートの実施も行っています。どんまいでは、風通しの良い事業所を作り上げ、今後も虐待防止に努めていきます。
- ※ 感染防止対策で病院から見学に来れない方のために、各事業所で見学DVDを作成しました。事前に病院のご協力もいただき、実際に聞きたいことや見たいことを患者さんから伺い、それを盛り込んだDVDに仕上がっています。完成後、退院の動機づけで貸し出す他にもOTやデイケアなど幅広く活用していただきました。

各事業所の活動報告をYouTubeにて期間限定で視聴できるようにしております。
下記URLにアクセスしぜひご覧ください。

YouTube動画URL

<http://npo-donmai.com/soukaimovie2023>



2022年度ピアサポート活動について

《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①体験発表・茶話会	2	2	1				3	2	3	2	2		17
②話し相手(病院)													0
③話し相手(訪問)													0
④同行支援	1						1				1		3
⑤見学対応		1											1
⑥ピア相談													0
⑦その他	3												3
計	6	3	1	0	0	0	4	2	3	2	3	0	24

【昨年度の取り組み】

コロナ過の中、実習生の現場実習が思うように実現できないこともあり、看護学生への体験発表等を行ってききましたが、今年度は実際の実習の中で体験発表や茶話会等を行うことで個別の関りや質問に対応することができ、より理解を深めてもらうことができました。全体を通し、支援者向けの活動が多かったですが、コロナ後の活動も見据えた働きかけができたのではないかと思います。

《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①動機づけ支援(長期入院者)													0
②動機づけ支援(支援者)			2			1							3
③話し相手(病院)													0
④話し相手(訪問)	1	1	1	1	1	1							6
⑤同行支援													0
⑥見学対応													0
⑦その他			7	1			6	1	1		5		21
計	1	1	10	2	1	2	6	1	1	0	5	0	30

【昨年度の取り組み】

・登録ピアサポーター 10名

研修医の先生への見学対応や精神障がい者社会復帰推進連絡会での体験発表等、松山市の活動としても支援者に向けた活動や研修への参加が主な活動となりました。年度末のスキルアップ研修では、南予、東予地区のピアサポーターとリモートにて交流会を開き、活動の振り返りやピアサポーターになったきっかけ等を話し合うことでお互いの刺激となったようでした。コロナの影響で対面での活動が難しい状況が続いていましたが、リモートだからこそできること、感じることがあることが分かり、新たな気づきとなりました。